

社会福祉法人徳島県社会福祉事業団広報紙

発行
 利用者支援を通じて笑顔あふれる施設づくりを推進します
 社会福祉法人 徳島県社会福祉事業団

かけはし

TEL 088-631-1200

FAX 088-631-1300

HP:<http://fukushi-center.jp/honbu/>

E-MAIL:honbu@fukushi-center.jp

第44号

令和3年7月30日



児童デイフラット未来 オンラインスポーツ教室

児童デイフラット未来 開設

令和3年4月に、放課後等デイサービス事業に加えて、未就学児を対象とした児童発達支援事業を開始することとしました。事業所の名称も「児童デイフラット未来」と改め、定員も5名増の15名でスタートしました。

障がいのある未就学児童に対する早期療育を行うとともに、学齢期の障がい児に放課後や夏休み等の長期休暇中において、生活能力の向上のための訓練等を提供することにより、未就学から学齢期にかけて継続的に適切かつ効果的な療育と放課後等の居場所づくりを行います。

フラット(b)には、半音下がるという意味があります。我々支援者も膝を曲げて、子どもたちの目線になって、支援を必要としている子どもたちとご家族の利益を最優先に支援を行います。

9月からはふらっとKOKUFUの発達支援棟に移転し、子どもから大人までの切れ目のない支援の一翼を担います。

理事長挨拶

社会福祉法人 徳島県社会福祉事業団

理事長 小谷敏弘

世界的に猛威を振るう新型コロナウイルス感染症に対し、ワクチン接種が進んでいるものの、感染力の強い変異株拡大への警戒など、依然として気を緩めることができない状況が続いております。当法人においては、昨年来、障害者・児施設をはじめ各事業所において、検温記録など衛生・健康管理の徹底、ユニット型への支援体制の見直しや、オンラインを使った体操教室や陶芸教室、eースポーツの実施など、コロナ禍の中で、感染防止に最大限の注意を払いながら、工夫を凝らしたサービス提供を行つてきたところです。

利用者や保護者の方々には、外出自粛や帰宅自粛などの要請に対しご理解とご協力を賜り、感謝申し上げる次第です。今後も、利用者や職員が円滑にワクチン接種できるよう尽力するなど感染防止対策に万全を期し、利用者の方の安心・安全が確保されるよう努めてまいります。

さて、徳島市国府町に建設中の地域生活支援拠点「ふらっとKOKU FU」が、次の機能を集め、今夏8月に完成します。

- ・4月にいち早く運営開始した「児童デイフラット未来」（定員15名）
- ・生活介護（通所）・就労移行支援・就労継続支援B型事業を行う「ワーク＆デイラクリエ」（定員60名）
- ・共同生活援助・短期入所事業を行う「ふらっとホーム」（定員15名）
- ・24時間365日体制で緊急時の相談支援を行う「相談支援事業所きぼう」

さらには、災害時に要配慮者のための「福祉避難所」としての役割を担い、地域の皆様から信頼される拠点施設となるよう、職員一同、開設準備を進めてまいります。

障がいのある方も暮らしやすい地域共生社会を実現させるため、取り組んでまいりますので、今後ともご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

業務執行理事（人材育成担当）挨拶

統括施設長 清重健次

先に開催されました「第61回社会福祉法人徳島県社会福祉事業団評議員会」において再任いただき、引き続き理事に就任いたしました。

さて、昨今のコロナ禍により社会はさまざま面で大きな打撃を受け、支援を必要とする人々を支える仕事の重要性は一層高まってきております。このようなウイルズコロナの今こそ、あらためて福祉の仕事の魅力を積極的に発信して、多様な人材の雇用を促進しキャリアアップを図りながら、困難な状況下で必要とされる福祉を継続させていくことが大切と考えています。

おわりに、微力ではありますが、法人の運営並びに福祉を支える人材の確保育成・定着に努めてまいりたいと考えておりますので、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

業務執行理事（地域貢献担当）挨拶

徳島県障がい者芸術・文化活動支援センター所長 西條美鈴

6月11日に開催されました、「第61回社会福祉法人徳島県社会福祉事業団評議員会」において、ご選任いただき、新しく理事に就任いたしました。

平成30年から障がい者の芸術・文化活動の普及事業を担当しておりますが、勤務年数の大半は視覚や聴覚に障がいのある方々の情報支援に取り組んでまいりました。今後は、微力ではありますが、法人の専門性やノウハウ等を活かし、地域共生を目指した事業活動をさらに進めていければと考えておりますので、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

新施設長挨拶

視聴覚障がい者支援センター所長 平田清美

4月に視聴覚障がい者支援センター所長に就任いたしました平田と申します。様々な場面や状況に応じた迅速な情報提供・情報支援に、精一杯努めてまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

令和2年度決算状況

事業活動による収入は、対前年度比102.8%と確実に伸びており、介護給付費の増をはじめとした障害福祉サービス等事業収入、受託事業の増加などによるものである。

事業活動による支出は、対前年度比104.7%と増加しており、手当拡充等による人件費の増加、新型コロナ対策衛生用品購入等の消耗器具備品費の増加などによるものである。

施設整備等による収入は、ふらっとKOKUFUの施設整備補助金の計上や借入金など、施設整備等による支出は、ふらっとKOKUFU新築工事の着工、未来の進入路・駐車場整備・中庭外構工事の実施、希望の郷・希望ホーム・未来の多機能型簡易居室の整備などが主な内容である。

当期末支払資金残高は増加しており、ふらっとKOKUFU整備をはじめ、今後の利用者サービスの基盤となる施設面の充実に向け、財源を確保している。

資金収支計算書総括表

(自) 令和2年4月1日 (至) 令和3年3月31日

(単位:円)

区分	予算額	決算額	差異
事業活動による収入	1,166,474,000	1,178,857,225	△ 12,383,225
施設整備等による収入	333,219,000	332,587,352	631,648
その他の活動による収入	21,999,000	22,006,737	△ 7,737
収入合計	1,521,692,000	1,533,451,314	△ 11,759,314
事業活動による支出	1,074,601,000	1,030,883,240	43,717,760
施設整備等による支出	210,419,000	205,718,807	4,700,193
その他の活動による支出	73,865,000	73,395,718	469,282
支出合計	1,358,885,000	1,309,997,765	48,887,235
当期資金取支差額	162,807,000	223,453,549	△ 60,646,549
前期末支払資金残高	450,536,541	450,536,541	0
当期末支払資金残高	613,343,541	673,990,090	△ 60,646,549

事業活動計算書総括表

(自) 令和2年4月1日 (至) 令和3年3月31日

(単位:円)

区分	当年度決算額	前年度決算額	増減
の活動 部動1 増減	サービス活動収益(1)	1,172,502,812	1,140,532,164
	サービス活動費用(2)	1,073,027,817	1,020,662,243
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	99,474,995	119,869,921
減活動 の動1 部外ビ 増減	サービス活動外収益(4)	6,358,455	6,534,667
	サービス活動外費用(5)	1,860,484	2,080,523
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	4,497,971	4,454,144
経常増減差額(7)=(3)+(6)	103,972,966	124,324,065	△ 20,351,099
の特 部別 増 減	特別収益(8)	282,587,352	8,917,000
	特別費用(9)	283,759,766	56,349,005
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	△ 1,172,414	△ 47,432,005
税引前当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	102,800,552	76,892,060	25,908,492
法人税、住民税及び事業税(12)	80,000	3,619,000	△ 3,539,000
当期活動増減差額(13)=(11)-(12)	102,720,552	73,273,060	29,447,492
差額 の活 部動 増 減	前期繰越活動増減差額(14)	1,333,834,544	1,244,948,918
	当期末繰越活動増減差額(15)=(13)+(14)	1,436,555,096	1,318,221,978
	基本金取崩額(16)	0	0
	その他の積立金取崩額(17)	33,036	15,639,178
	その他の積立金積立額(18)	50,031,428	26,612
	次期繰越活動増減差額(19)=(15)+(16)+(17)-(18)	1,386,556,704	1,333,834,544
			52,722,160

職場のリーダー紹介

③抱負 ②職名 ①氏名

高橋 和孝
① 就労グループサービス管理責任者
② 就労グループサービス管理責任者
③ 今年度より、障害者支援施設 希望の郷 就労グループのサービス管理責任者になりました。就労グループは、「ふらつとKOKUFU」への移管準備・農福連携など新しい取り組みを多くしています。責任の重さに身の引き締まる思いですが、グループ職員一丸となり頑張って参りますので、よろしくお願いします。

希望の郷

② ①
吉本 直紀
さくらグループサービス管理責任

吉本 直紀
さくらグループサービス管理責任者
① ② ③
この度、生活介護のサービス管理
責任者を拝命しました。コロナ禍において、今だからこそできるサービスを提供し、利用者さんの生活がより充実するよう努めて参ります。

① 谷崎 佳奈
② たんぽぽグループサービス管理責任者
③ サービス管理責任者3年目になりました。ウイズコロナの経験も今後の糧となるように、また、基本を忘れず変化にも柔軟に、周りと協力をしながら、サービスの向上に頑張ります。

相談支援事業所きぼう

① 横地 泰彦
② ひまわりグループサービス管理責任者
③ 今年度よりサービス管理責任者を拝命しました。試行錯誤の日々ですが、利用者さんと関わるなかで得た知識と経験を活かし、サービスの向上とチームワーク強化に努めます。

① 荒井 勝志
② 主任支援員
③ 利用者の皆さんは、早起きして朝食を食べて、仕事に行って、夕方疲れて帰ってきて、その日の愚痴を仲間や職員に聞いてもらひながら夕食と一緒に食べる。充実した日々を送っています。私も早くホームの一員となれるよう頑張ります。

希望ホーム

荒井 勝志
主任支援員
利用者の皆

久次米 宏美



① 久次米 宏美
② 保育士（コスマス棟リーダー）
③ ゆつくりでも、ちよつとずつでも
日々みんなで成長していけるような、
それをみんなで喜び合えるような棟に
していきたいと思います。コロナにも負けないよう頑
張ります。

児童デイフラット未来

河野 優子
児童発達支援管理責任者

① ② ③ 「児童デイ フラット未来」が、
子どもにとって、楽しく過ごせる居心
地の良い場所の1つになれるよう頑張
ります。よろしくお願いします。

未
来

① 梨名 昭代
② 係長／総括相談支援専門員
③ 「チームきぼう」の世話を焼きおばさんとして、皆さんのが楽しく仕事に取り組めるような温閑気づくりに努めて

① 篠原 亞耶子
② 主任児童支援員（ひまわり棟リー）
③ 未来での生活が安心でちょっと楽
しいと感じられる、そんな毎日を過ご
してもらえるように、職員のチームワーク力を生かして
今年度も支援を行っていきたいと思います。

地域生活定着支援センター

フレッシュマン紹介

 松岡 陽子

① 通所部サービス管理責任者
② この度生活介護通所部のサービス
③ 管理責任者を拝命いたしました。通所
部は9月に移転、ふらっとKOKUFU
Uの「ラクリエ」として新しいスタートをきります。誰で
もその人らしく豊かな生活を送ることができる場所にな
りますよう、精一杯職務に努めてまいりたいと思います。

① 香川 雄一
② 保育士（たんぽぽ棟リーダー）
③ 子どもも職員も笑顔があふれています。子どもたち一人ひとりが安

① 泉 富士夫
② 臨時相談支援員
③ 徳島県地域生活定着支援センター
に努力してまいります。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお
願いいたします。

希望の郷

農福連携の取り組み

希望の郷では、利用者の方が農業分野で活躍することを通じ、自信や生きがいを持って社会参加を実現し、工賃向上を目指していくことを目標に頑張っています。

現在、上八万分場の農地、国府町の農地2反余りを使い、農業の取り組みを進めています。専門的なアドバイザーの方や地元の方の協力をいただき、昨年秋よりにんにく、ジャガイモの栽培を行い6月には収穫作業も行いました。農業は、天候に左右されるなど思い通りにならないこともありますが、自然の中の広々とした畑で気持ちよく仕事をすることができます。

将来的には地域の農業の担い手として仕事ができるようになりますと意気込んでいます。また、栽培した農産物を使い加工品製造や販売を行うことも予定しています。この想いは、「ふらっとKOKUFU」へと引き継がれていきます。



ターゲットボッチャ交流大会
(会場参加者)

障がい者芸術・文化活動支援センター

プラザギャラリーでの展示

2021年1月に開設されたプラザギャラリーですが、1階ギャラリーでは、3月6日(土)より第6回「障がい者アーティストの卵」発掘展受賞作品展を5月23日(日)まで開催しました。期間中は、来観者から「素晴らしい作品からエネルギーをもらえた」等の感想を多くいただきました。また、6月1日(火)からは、ギャラリーオープン記念展「HOME to HOME」の第2期が始まっています。9月30日(木)までの展示となります。

2階ギャラリーでは、ギャラリー開設記念作品募集に応募された「ともだち」をテーマに描かれた作品125点を5月末まで展示しました。入選作64点は、交流プラザ玄関ホールに、展示しています。8月7日(土)からは、9月29日(水)まで「Tシャツデザイン展」を開催予定です。皆様のご来場をお待ちしています。

プラザギャラリーでは、障がいのある方の制作した作品を多くの方に見ていただき、障がい者の芸術文化の発展および社会参加の実現につなげたいと考えています。作品発表の場として、ぜひプラザギャラリーをご利用ください。申し込みをお待ちしています。



1階プラザギャラリー



2階プラザギャラリー

徳島県障がい者スポーツ協会

2021 頑張るんじょ！ とくしまパラスポーツフェスティバル

令和3年1月24日(日)に徳島県立障がい者交流プラザ体育館にて、Withコロナ時代を見据えた、より安全かつ効果的なスポーツ活動の再開のきっかけとなる「新しいカタチのスポーツイベント」を開催しました。本イベントでは、会場と障がい者施設等をオンラインでつなぐことで、会場に来られなくても、会場参加者と一緒に楽しむことができる「ターゲットボッチャ交流大会」や「フライングディスク交流大会」を実施しました。

徳島県障がい者スポーツ協会ロゴマークを作成

当協会が、令和3年7月に「5周年」を迎えるにあたり、当協会をより身近に感じて頂くことを目的とし、親しみを持っていただけるようなロゴマークを募集しました。

多くの応募作品の中から1作品を選考し、令和3年4月1日から、大会プログラムや封筒など様々な場面で使用しています。



【作者】露口 誠二さん 【所属】れもんワークス(石井町)
【ロゴマーク】4人のパラアスリートたちが、バトンをつなげている様子が描かれています。
青は「精神」、赤は「熱意」、紫は「マイペース」、黄色は「希望」のシンプルな色合いに仕立て、パラアスリートの絆が表現されるロゴデザインです。